



陸上
 1ク陸上競技場
 【成年男子】
 ▼砲丸投げ決勝 ①奥村仁志
 (福井・センコー) 18.78 大会
 新②森下(兵庫・KAGOTAN
 I) 18.00 ③ツオヒン(大阪・
 福岡大) 17.94 ④木幡駿平(東海
 大) 15.45

▼やり投げ決勝 ①小椋健司
 (栃木・エイゼックススポーツ)
 79.19 ②鈴木山梨・九州共立大
 77.86 ③崎山(愛媛・愛媛県競技
 力向上対策本部) 77.07 ④坂田陽
 (九州共立大) 63.37
 【少年男子A】
 ▼100m予選
 「6組」③鳥谷部陽向(三沢高)
 10秒64 準決勝進出
 ▼同準決勝
 「3組」②鳥谷部陽向(三沢高)
 10秒30 追い風参考、決勝進出
 ▼300m予選
 「1組」⑥猪股賢樹(弘前美高)
 34秒57 落選
 【少年男子B】
 ▼100m予選
 「6組」寺嶋大夢(弘前美高)
 11欠場
 ▼走り幅跳び決勝 ①長谷部光
 輝(岐阜・RIVER) 7.71
 ②元山(福井・鯖江高) 7.13
 ③追い風参考 ④田伏(千葉・市船
 橋高) 7.12 ⑤伊藤楓海(大湊高)
 6.88
 【少年男子共通】
 ▼800m予選
 「4組」④荒関星多(八戸学院
 光星高) 1分54秒09 落選
 【成・少年男子共通】
 ▼400mリレー予選
 「1組」①青森(松谷、大上、
 鳥谷部、寺嶋) 39秒86 準決勝進
 出



【陸上少年男子共通800m】強豪相手に奮戦する青森の荒関星多(八学光星高、左から2番目)

荒関(成)奮戦も
 決勝進出ならず
 少年男子共通800m
 ○：陸上少年男子共通800mで荒関星多(八学光星高)は全国の強敵を相手に一歩及ばず、準決勝進出を逃した。「出場したからには決勝に行きたかったが、経験や実力」と誓った。
 力の差を思い知らされた」と悔しさをにじませた。「序盤から相手選手にペースを合わせられれば、遅れを取らない」とフルスピードで食らいついたが、300mを超えるとトップランナーから大きく離されて劣勢に。結果は4位で決勝進出の夢はついていた。
 高校3年間で全国高校総体(インターハイ)への出場はかなわなかった。陸上競技部の赤間俊勝監督から「まずは先に国入がある。必ず出場してやろう」と声援を受けて再奮起して全体的な舞台に立った。
 未練が残った一方、トップクラスの選手と競えて、とても良い刺激になった。今まで1番楽しかったレースだったとポジティブな感想も。大学進学後は駅伝に専念する考えで、「今日の経験を糧に、さらなる高みをめざした」と誓った。